

体験スノーケリングプログラムの遵守事項 団体代表は活動の決まりを引率指導者、参加者へ周知してください

1 体験スノーケリングプログラム概要

ラムサール条約に登録され、世界に誇る透明度をもつ海が広がる沖縄青少年交流の家海洋研修場。そのフィールドを存分に活用するプログラムとして開発された体験スノーケリングは、誰でも安全に海中観察が楽しめ、さんごを含む海洋生物及び環境保全に興味をもっていただく適切な体験活動プログラムです。

しかし、体験するためにはルールを厳守することが大切です。ちょっとした油断やルール違反は直接重大な事故につながる可能性があることを認識し、ルールを守って素晴らしい海を体一杯で感じ、海洋生物や環境保全について大いに関心を深めてください。

2 基本的な留意点

(1) 団体代表者の皆様へ

※対象は5年生以上とします。

①施設利用申込み時に青少年の家担当者とスノーケリング活動の内容調整を行ってください。

機材数による活動人員の制限、活動時間、他団体の兼ね合い等について調整します。

②活動に際し持病等、配慮の必要な参加者の確実な把握が必要です。

活動前に必ず青少年の家担当職員に報告してください。

③引率指導者の配置が必要です。(引率指導者とは、グループを率いて入水する担当者です)

・10名につき、引率指導者が1名以上必要です。

・エリア内では引率指導者をのぞき40名まで活動することができます。

★引率指導者について

経験、資格等については不問です。グループの取りまとめ役と考えてください。

参加者が基本ルールを守り活動しているかの安全監視及び守れない参加者への注意喚起、海洋監視職員との連絡が主な役割です。スノーケリングの指導は青少年の家職員が行います。

参加者と一緒にオリエンテーションを受け、青少年の家職員の指示を参加者へ周知、指導をお願いします。

(2) 基本ルール (活動前のオリエンテーションで具体的に伝えます)

①活動前に行う体験スノーケリングオリエンテーションを必ず受けます。

②適切な機材の使用法を守ります。

③ライフジャケットを必ず着用します。

④体験スノーケリングエリアを守り活動します。

⑤バディシステムを守り安全確認を行います。

バディシステムとは、二名を一組にした活動中の安全管理の手法です。詳細はオリエンテーションで伝えます。

⑥サンゴ保護のためサンゴの上には立ちません

⑦活動中は引率指導者並びに海洋監視職員の指示を守ります。

⑧活動時間を守ります。

3 その他

(1) 体験スノーケリングに必要な時間

オリエンテーション→機材選び→装着→準備運動→【体験】

この一連の活動で約60分です。(体験後の片付け7～8分)

(2) 1日のスノーケリング体験回数

午前、午後それぞれ1回を原則とします。(開始時間は10:00と14:00)

開始時間に遅れた場合は実施できないことがありますので予めご了承下さい。

(3) 機材の使用に関して

必要機材は貸し出します。マスク、スノーケル、フィンは個人で持ち込んでも構いません。

(4) 不明な点は、事前又は活動前に必ずお確かめ下さい。